

臨時開催 T O O 1	特許調査業務における A I 技術の活用とリスク管理
講座レベル ★★	生成 A I と特許情報業務；どこまで調査業務に使えるのか？ 生成 A I 利用における安全性と実務上の注意点
講師	酒井 美里（スマートワークス㈱ 代表取締役、元セイコーエプソン㈱ 知的財産本部）
日程・場所	東京会場
	2026 年 3 月 6 日（金）、4 月 24 日（金）
時間	半日間（13:30～16:30）
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access/
定員	東京会場 24 名（先着順申し込み）
受講料	18,000 円（税込 19,800 円）
対象	特許調査の実務担当者、知財部門のマネージャー、管理者
内 容	
<p>ChatGPT などの生成 AI の登場により、特許調査の手法は大きく変わりつつあります。本セミナーでは、AI を「検索」や「要約作成」のツールとしてどのように活用できるかを、特許調査のプロが実体験に基づく事例を交えて紹介します。</p> <p>前半では、生成 AI や類似度検索を活用した効率的な調査・分析方法を解説。</p> <p>後半では、出願前情報や NDA 案件を扱う際の注意点や、安全な AI 導入の考え方を取り上げます。ネット情報や書籍ではわからない日頃の疑問も、その場で解消できるチャンスです。</p> <p>特許調査実務担当者や、開発・設計部門の知財リエゾンを担当される方におすすめの内容です。</p>	
プログラム	
<p>第一部 生成 AI と特許情報業務 — 実務への導入と活用の方向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 生成 AI と特許情報の現在地 ～ChatGPT・Claude・Gemini など、主要生成 AI の特徴と進化～ AI 導入の実務的視点 ～生成 AI は「同僚ではなくツール」と捉える（生成器としての AI）、他～ 特許調査業務での AI 活用シーン ～調査業務ブレスト支援、検索式の設計、他～ <p>第二部 生成 AI 利用における安全性と実務上の注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 生成 AI 利用と情報セキュリティの基本理解 ～生成 AI の構造的な注意点（学習と利用ログの分析）～ 実務で直面するリスクと対応 ～情報セキュリティ、情報の正確性・ハルシネーション対策、他～ 安全に使うための実践ポイント ～生成 AI のガイドライン～ 	

【お申込み】

弊社ホームページよりお申し込みください。

URL: https://www.jpds.co.jp/ip_seminar/schedule/

【備考】

- セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。